

学校保健

平成18年6月

No. 262

(財)日本学校保健会ホームページアドレス
http://www.hokenkai.or.jp/



JAPANESE SOCIETY
OF
SCHOOL HEALTH

(財)日本学校保健会

(財)日本学校保健会の事業に期待しています

田能村教育問題研究所長 田能村 祐麒



児童生徒の体力の長期的な傾向や肥満傾向児の増加が指摘されています。また性の逸脱行為や性被害の増加、薬物乱用、性感染症等の広がりが社会問題化していて、それぞれに対して種々な取り組みが行われてきました。

しかし、これら問題は既に乳幼児期から多様な発生要因が相互に関連し複合して芽生えています。このため発達段階に応じて発生要因を構造的に把握し、対処していくことが必要かと思えます。

例えば、体力の低下傾向について言えば、運動不足をもたらしている社会的要因として都市化によって子ども達の遊び場が奪われていることや少子化に加えて塾通いが増加し、自然発生的な子どもの群が消滅したことや生活の利便化の追及による身体活動の減少などがあげられますが、体力・スポーツに関する世論調査(総理府、1994年)によれば、子どもの運動不足の理由として、テレビを観る時間などが多くて遊ばない(65.6%)、勉強・塾などに忙しくて時間がない(63.7%)、遊んだり運動したりする仲間が少ない(30.4%)、などと答えています。(複数回答)

このようなことから、多くの子どもが運動不足のまま、あるいは運動の楽しさを味わうことなく成長していったり、子どもの群の中で自然に習得していた自尊感情や自己肯定感が得られず、コミュニケーション能力が発達せず、仲間に対する優しさや思いやり、欲求不満に耐えるなどの心情を養うことなしに成長しているといえます。

また家庭においては、核家族、少子家族の中にあって、母子間のアタッチメントの形成に問題があり、環境に対する働きかけが消極的で孤立しがちであったり、攻撃的で親密な対人関係を築くことができなかったり、さらには幼年期から個室を占有して独り遊びの道具で成長していたり、家族が揃って食事をすることも少なく、他者とのかわり方を学ぶことができず、対人関係によって自己を発見したり、対人関係がもたらす人間の温かさや喜びを味わうことができずにいたりしています。

その上、家事の家族外への依存や親の過干渉などによって、物事の達成感や成功感を味わうことが少なく、家族の知識偏重の評価などもあって自尊感情や自己肯定感を得られずにいたりします。

(8ページ上段へつづく)

目 次

(財)日本学校保健会の事業に期待しています	1
「児童生徒の健康診断マニュアルの改訂について」	2-4
シリーズ⑤ 健康教育をささえる ～保健主事会の現場から～	5-6
食育に関する実践事例	7
海外ニュース	8
「平成18年度健康教育推進学校表彰事業」について	9
ロッテ出前講座について	10
平成18年度推薦用品一覧	11-12
虎ノ門・事務局だより	13
日本学校保健会図書・しおり一覧	14-15

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。FAX等でお寄せください。

乞御回覧

校 長	教 頭	保健主事	養護教諭	学校栄養職員	PTA	会 長	副会長	

「児童生徒の健康診断マニュアル」 改訂について

健康診断調査研究小委員会委員長 衛 藤 隆
(東京大学大学院教育学研究科 教授)

はじめに

学校における健康診断のうち、幼児、児童、生徒を対象として行う健康診断について、その実施にあたっての具体的な事項をマニュアルとしてまとめ、刊行されたのは平成7年3月であった。その後10年以上経過し、児童生徒等の健康診断をめぐる状況や法令等に様々な変化を生じた。この間、平成9年9月には保健体育審議会答申「生涯にわたる心身の健康の保持増進のための今後の健康に関する教育及びスポーツの振興の在り方について」が出され、児童生徒等の健康の保持増進のための実践力を育成することの必要性が強調され、教科の保健と共に健康診断がその具体的実践の場として注目されるようになった。保健管理としての従来から有する機能に加えて、健康診断に健康教育の機会ないしはそのきっかけとしての意義があることが一層重視されるようになったといえる。また、平成14年9月には中央教育審議会答申「子どもの体力向上のための総合的な方策について」にて「調和のとれた食事、適切な運動、十分な休養・睡眠」という“健康3原則”が子ども自身に徹底されることが必要である」ことが強調され、健康教育の内容として重視すべき点が明らかにされた。

健康診断の見直しについては、本会の学校保健センター事業として、平成12年より保健管理調査研究委員会の下に健康診断調査研究小委員会が設置され、3年度にわたる検討を踏まえ、平成15年に報告書がまとめられた。ここでは、健康診断項目、保健調査と日常の健康観察、健康診断と健康相談のかかわるプライバシーと人権の保護、事後措置等について調査研究結果をとりまとめた。これらを受けて、児童生徒の健康診断マニュアルを大幅に改訂することになり、上述の小委員会にて作業を行い文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課の監修の下、平成18年3月に改訂版を発

行する運びとなった次第である。(図1)



図1) 児童生徒の健康診断マニュアル表紙

1. 本マニュアルの役割

改訂にあたっては、初版のマニュアルが刊行されるに至った経緯が再確認された。初版のマニュアルは昭和62年から途中1年間の休止期間をはさみ、平成6年度まで本会の健康診断調査研究委員会(船川幡夫委員長)にて検討された結果を踏まえ制作されたもので、平成6年12月の学校保健法施行規則の改正を主たる根拠としている。上記委員会における検討では、従来のように健康診断実施上の具体的事項について規則や局長通知で細部まで記載することを止め、マニュアルを作成し、それに基づき学校において健康診断を実施することが合意された。時代により健康診断実施上の技術的事項、運営方法の具体等に変化が生じうが、それらに適切に対応し、実施方法を普及させるためには、マニュアルを作成し全国の学校に配布する方法が適切であろうという判断に基づいている。結果としては、初版の刊行から11年の歳月を

経て改訂版が出されることになったが、マニュアルの持つ機能を考えると、今後はもう少し短い間隔で改訂版が出されることが望まれる。

2. 今回の改訂の要点

過去11年間に生じた健康診断をめぐる根拠法令の変化および関連する法令の変化には全て対応することは当然であるが、それら以外に留意した主要な点は以下のとおりである。

- ①幼児の健康診断の内容、方法を追加
 - ②肥満およびやせ傾向の判定法
 - ③「脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無」に関する記述内容の充実
 - ④児童虐待および発達障害の早期発見を目的とした留意事項の追加
 - ⑤歯および口腔の「CO」「GO」等の事後措置についての方法を充実
 - ⑥プライバシーおよび個人情報の保護等の徹底
- なお、平成7年度以降に法令の改正等に基づき、健康診断に大幅な変更を生じた点は以下のとおりである。

- 色覚を必須項目より削除したこと
- 結核検診の実施内容等を修正したこと

今回のマニュアルで前回と異なり変更ないし追加されたその他の点としては、保健調査票の例を示したこと、結核問診票については標準的なもののほか、英語、中国語、韓国・朝鮮語の例も示したこと、健康診断の方法及び技術的基準を改めて示したこと、出生から20歳までの男女別発育曲線をパーセントイル曲線として示したこと、関連法規を含め資料を充実させたことがあげられる。

3. 主な改正内容の説明

- ①幼児の健康診断の内容、方法を追加

初版のマニュアルでは幼稚園における健康診断の記述が乏しかったが、この点を改善するため、幼児の健康診断の実施について留意するよう努めた。視力検査では、「幼稚園児や小学校低学年の児童では、検査に対する不安や不慣れのために正確な検査結果が得られないこともあるので、事前

に予行を試みるとよい」であるとか、「幼稚園児、小学校低学年の児童については単一（字ひとつ）視力表を用い、ランドルト環の切れ目が上下左右にあるもののみとする」などと記述した。聴力検査では、特に「幼児の検査法」という項を設け、3歳と4歳－就学前までに分けて記述した。また、幼児の健康診断票の例を掲げた。

- ②肥満およびやせ傾向の判定法

平成12年（西暦2000年）度の性別、年齢別、身長別標準体重に基づいて肥満およびやせ傾向の判定を行う方法を示した。肥満およびやせ傾向について体脂肪を別途測定することなく身長および体重から推定するには複数の方法が存在するが、現時点の学問的見地から最も妥当な方法として標準体重に基づく判定法を示した。平成12年度の測定値を用いる理由は、同年に乳幼児身体発育調査が厚生労働省により実施され公表されているので、同年の学校保健統計調査と合わせ、幼児から児童生徒までの肥満傾向またはやせ傾向の判定に用いることとしたものである。なお、前者は10年毎の調査である。

- ③「脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無」に関する記述内容の充実

以前から、「骨・関節の異常及び四肢の状態を含む」とされていたが、本項目については、多くの場合は整形外科を専門としない学校医または医師により実施される。このため、整形外科を専門とする委員に執筆を依頼し、従来よりも詳しい内容とし、参照事項を多くした。また、スポーツ外傷・障害の予防の観点にもふれた。さらに、「健康診断時に注意すべき疾病及び異常」の章にて整形外科の項目を新たに設けた。

児童虐待および発達障害の早期発見を目的とした留意事項の追加

- ④児童虐待および発達障害の早期発見を目的とした留意事項の追加

幼児および児童生徒に対する重大な人権障害である児童虐待を健康診断の機会に発見される可能性を想定し、栄養状態の項目に「子ども虐待」に留意すべきことを書き加えた。また、知的な遅れが明らかではなく、必ずしも気づかれないことのある学習障害、注意欠陥多動性障害、広汎性発達

障害について、「健康診断時に注意すべき疾病及び異常」の章に発達障害の項目を新たに設けた。

⑤歯および口腔の「CO」「GO」等の事後措置についての方法を充実

平成6年12月の学校保健法施行規則改正にて初めて導入された「CO」と「GO」の概念については10年以上経過し、周知されることとなった。今回のマニュアルでは事後措置の重要性が改めて強調され、継続的な観察が行われるための具体的方策が記述された。

⑥プライバシーおよび個人情報の保護等の徹底

健康診断を実施する場合の場の構成、役割分担の工夫等を通じた児童生徒のプライバシーへの配慮と共に、結果の処理や活用に関する情報管理についての配慮を記述した。

4. 注意事項

本マニュアルは上述のごとく初版から11年を経て刊行された改訂版であるが、変更点が多いため、大幅な書き換えがなされた。全面書き換えに近い改訂作業であったが、日程の関係でかなり急いで制作がなされたことも事実である。文部科学省監修の下、多くの委員の尽力を得て完成をみたが、刊行後、誤植や記述の誤りが複数判明した。既に各学校に配布されたところであるが、急遽小委員会にて正誤表が作成された。正誤表は、本文の訂正表と図表の訂正表に分かれて示され、本会のホームページ上に掲載されることとなった。そのまま引用されることの多い図表（「検査の項目及び実施学年」(図2)、各種様式参考例及び記入例等を含む）については、誤りの箇所を見え消しで示すと共に、訂正された新たな図表についても掲載されることとなった。したがって、ホームページから訂正された図表を個々にダウンロードすることを可能にした。利用される皆様には大変お手を煩わせ、恐縮であるが、正誤表の活用をお願いしたい。

平成18年1月31日現在

項目	検査・検査方法	発見される疾病異常	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学
健康調査	アンケート		○	○	○	○	○
身長・体重・BMI			○	○	○	○	○
栄養状態		栄養不良 肥満傾向・貧血等	○	○	○	○	○
骨格・関節		骨・関節の異常等	○	○	○	○	○
視力	裸眼視力 矯正視力 調節力	屈折異常、不同視など	○	○	○	○	○
聴力	聴覚検査	聴覚障害	○	○	○	○	○
歯・口腔	口腔内視鏡検査 口腔内視鏡検査 口腔内視鏡検査	歯・口腔の異常	○	○	○	○	○
皮膚	皮膚視診	伝染性皮膚病、その他	○	○	○	○	○
耳鼻咽喉	耳鼻咽喉科検査	耳鼻咽喉科疾患	○	○	○	○	○
血液	血液検査	伝染性皮膚病、その他	○	○	○	○	○
結核	結核検査	結核	○	○	○	○	○
心臓	心臓検査	心臓の疾患	○	○	○	○	○
脳	脳検査	脳の疾患	○	○	○	○	○
腎臓	腎臓検査	腎臓の疾患	○	○	○	○	○
消化器	消化器検査	消化器の疾患	○	○	○	○	○
泌尿器	泌尿器検査	泌尿器の疾患	○	○	○	○	○
生殖器	生殖器検査	生殖器の疾患	○	○	○	○	○
内分泌	内分泌検査	内分泌の疾患	○	○	○	○	○
免疫	免疫検査	免疫の疾患	○	○	○	○	○
精神	精神検査	精神の疾患	○	○	○	○	○

(注) ○ は全員に実施されるもの
△ は必要時または必要に応じて実施されるもの
□ は検査項目から除くことができるもの

「定期健康診断における検査項目マニュアル」(財日本学校保健会 平成15年3月)
「保健主事の手引(3訂版)」(財日本学校保健会 平成16年2月)により作成

図2) 検査の項目及び実施学年

おわりに

学校における健康診断の意義は時代と共に変化しつつあり、一層その重要性を増してきていると言っても過言ではない。このような状況の中で、保健管理に加え、各地域、各学校でその特色を生かした健康教育を推進する上で本マニュアルを活用していただければ幸いである。健康診断の基本は本マニュアルで全ておさえられており、日本国内での学校の健康診断の標準がどのようなものであるかが一読できるようになっている。健康診断自体の課題はまだ沢山あり、今後機会がある毎にさらなる検討を加える所存である。教育基本法の改正等、日本の学校教育のターニングポイントを迎える時期が近づいてきていると認識しているが、これらの動向を踏まえ、学校健康教育の方向を考えていきたい。

シリーズ⑤

「健康教育をささえる～学校保健主事の現場から～」

全国学校保健主事会

全国学校保健主事会会長 小嶋 保廣

1. はじめに

今、子どもたちには、近代における都市化、情報化など社会環境や生活様式の変化、自然環境の変化、少子化などが子どもの身体的活動・遊びの減少、食生活の変化、精神的負担の増大、人間関係の希薄化などをもたらし、さらには家庭や地域の教育力の低下をもたらすなど子どもの心身の健全な発育・発達にさまざまな影響を与えている。このような複雑、多様化している子どもの心身の健康課題の他、いじめや不登校の生徒指導に関しても心の健康との関わりから、保健主事が積極的にその役割を果たし、学校における健康教育の充実と指導体制の一層の強化を図ることが急務となっている。

2. 本会の組織及び活動

本会は(財)日本学校保健会の所属部会として、全国都道府県及び政令指定都市の学校保健主事(主任)会を持って組織される。学校保健安全に関する指導の上で、学校教育全体の調整役を果たすと共に、心の健康教育問題や学校環境の衛生管理など健康に関する現代的課題に対応する中心的存在として、また保健主事(主任)会の全国組織として活動している。

本会は結成以来、50年あまりを経過する中でその課せられる役割を果たしつつも、該当する都道府県及び政令指定都市(60)の中で21の団体が未加入の現状があり、組織拡大を図る必要がある。また、保健主事が学校保健活動の要として現在以上に必要とされている。しかし、保健主事の在任年数が単年の場合が多い。適任者が継続的に活動できるように、校長指導のもとで、養護教諭と連携を保って進めていくことを当面の課題としている。

なお、昨年度の研究協議会等の実施結果と今年度開催予定の研究協議会の活動内容は次のとおり。

3. 平成17年度研究協議会等の実施結果

○第48回全国学校保健主事研究協議会山形大会

平成17年8月18/19日山形県山形市において全国から保健主事の代表や役員、学校関係者300人以上の参加により第48回全国学校保健主事研究協議会山形大会及び全国学校保健主事会理事・評議委員会が開催された。

理事・評議会では、平成21年以降の研究協議会の開催地について話し合いがもたれた。情報交換会においては、各県の活動等が紹介された。(1)保健主事としての任期が短く十分な活動が難しい。(2)財政基盤が安定しない。等の意見が出され、それぞれの地区独特の活動も行いながら頑張っている様子が報告された。

本大会において「生きる力をはぐくむ学校保健教育の推進について～コーディネーターとしての保健主事の役割～」と題して文部科学省スポーツ・青少年局 体育官 戸田芳雄先生の記念講演をいただいた。講演の中で、「保健主事の役割は、いくつかあるが、特に、学校保健委員会をどう組織して運営できるのかの一点に保健主事の力が凝縮されている。」と力説されていた。

更に、「保健主事は1日1度は保健室をのぞいて声をかけ、常に子ども達を見ている養護教諭の問題意識と一緒に考え提案し、そして学校全体の問題として考え解決できるようにすることが大切である。」と結ばれた。

そして「自ら守り育てる心と体」の主題のもと、3つの課題について研究協議を行い、それを受けて、それぞれの課題について真剣な討議が行われた。

研究課題

1) 学校保健委員会に関すること

「課題の共有化を視点とした学校保健委員会」

一戸町立一戸中学校 保健主事 古井美枝子先生

2) エイズ教育(性教育)に関すること

「学校・家庭・地域と連携した

エイズ教育（性教育）の推進」

長井市立長井南中学校 保健主事 佐々木昭江先生
 山形県立長井高等学校 保健主事 相場 千明先生
 3) 心の健康の保持増進を目指す

教育活動に関すること

「心身ともに健康でたくましく生きる児童の育成」

—ライフスキル教育を通して—

岩瀬町立南飯田小学校 保健主事 中澤 淑子先生
 研究主任 稲川伊知郎先生

○第55回全国学校保健研究大会（大津大会）の発表から

平成17年度全国学校保健研究大会が大津市で行われた。課題別研究協議会において、

「組織活動について、保健主事として何を考えどう行動すべきか」をテーマに発表を行った。

その中で、保健主事の抱えている疑問に対して提案をした。

「保健主事の手引き〈三訂版〉」（日本学校保健会2004、2）には、6項目の内容が示されているが、ここではより具体的な視点で述べてみた。

- ① 保健主事の守備範囲（学校保健）を理解する。
- ② 校内の実態把握、何が問題かを理解する。
- ③ 上記の二つからその中で、すぐ可能な内容、不可能な内容の選別をする。
- ④ 実現可能な中で、すぐ可能な内容、1年以内に可能な内容、数年かければ可能な内容とを選別する。
- ⑤ 養護教諭、管理職との連絡調整。
（実現に向けての協力依頼。）
- ⑥ 職員会議にて全職員に理解を求める。

決して無理をしない。自分のできる範囲で、柔軟な発想で行う。養護教諭は良きパートナーである。

保健主事に関わる問題としては

- ① 校長の任命の問題
 - ・適任者を任命しているか（適材適所）
 - ・本人の同意を得て任命しているか（推進意欲）
- ② 任命期間の問題
 - ・校内事情で短期間になっていないだろうか。
- ③ 兼務の問題
 - ・守備範囲が広すぎて活動が停滞していないか
- ④ 養護教諭との連携
 - ・綿密な連携がとれているだろうか

学校における保健活動は、生徒が健康で安全な

学校生活をおくるために大変重要な活動である。

この活動を円滑にし、効率を上げるためには、保健主事の具体的な視点の6項目についての的確な情報を伝えて理解してもらい、協力を得ることが大切である。

4. 平成18年度研究協議会開催予定

○第49回全国学校保健主事研究協議会茨城大会

期日 平成18年8月17日（木）18日（金）

会場 茨城県民文化センター

基調講話「学校保健の現状と保健主事の役割」（仮題）

文部科学省スポーツ・青少年局

学校健康教育課教科調査官 今関 豊一先生

記念講演「黄門様から習うこと」

植草学園短期大学 教授 但野 正弘先生

研究課題

1 学校保健委員会に関すること

高崎市立新高尾小学校

保健主事 市川 幸子先生

2 薬物乱用防止教育に関すること

川口市立十二月田中学校

保健主事 佐藤 恵子先生

3 心の健康の保持増進を目指す教育活動に関すること

岡山県立吉備北陵高等学校

保健主事 福田 正光先生

大会事務局

茨城県立土浦工業高等学校 小松崎 一枝

〒300-0051

茨城県土浦市真鍋6-11-20

電 話 029-821-1953

F A X 029-822-6924

《平成19年開催県》 岡山県

《平成20年開催県》 和歌山県

《平成21年開催県》 九州ブロック

《平成22年開催県》 未定

研究協議会の開催地が未定となっている。各ブロック等で連絡を取り、開催地を決定する事になっている。

食育に関する実践事例

この記事は、No.260号の事務局だよりにおいて「食育に関する事例」を募集した際にご応募いただきました。

静岡県袋井市立三川小学校養護教諭

野澤 薫

近年の児童・生徒が抱える多様化・複雑化した健康課題解決のために本校では「食育」を健康教育活動推進のキーワードに設定している。

学校保健年間計画や保健室経営案に「食育」を意識的に設定するとともに、「年間の食に関する指導の計画」を作成し、養護教諭の専門性を生かした食育の実践に取り組んでいる。

①個別健康記録カード（すこやかカード）の作成と活用

食を含む基本的生活習慣を育成することが健康教育の基盤になると考え、毎月1日の「健康安全の日」には、全校児童・保護者で「すこやかカード」に取り組んでいる。「すこやかカード」では「食」に焦点をあて、「健全な生活リズムの確立」を図ることにより「健康を維持し向上させる能力の育成」をめざしている。親子で、「朝食」「睡眠」「排便」「歯みがき」の基本的生活習慣を反省し、話し合う機会が確保できたことにより様々な効果が表れている。子供の生活が改善した姿、保護者自身が家族全員の食や生活リズムへの関心を深め改善しようと意識し始めた姿がみられ、授業でも活用している。また、すこやかカードに担任や養護教諭がコメント

を記入して返すことにより、保護者との連携も深まり、望ましい基本的生活習慣への改善を促すことが容易となった。すこやかカードは、個人用

ファイルに収納し、個別指導時（朝食欠食・生活習慣病）や、授業時（学級活動・保健・総合的な学習）に効果的に活用している。カードの集計結果は点数化し、保護者用保健便りに載せたり、懇談会の資料に活用し、保護者の意識を大きく変容させることができた。



【すこやかファイル】

②養護教諭の特性を生かした保健指導（すこやか指導）

児童自身が問題に気づき改善していくことができるよう、全体指導として、身体測定時や長期休業前後のすこやか指導や、総合的な学習の時間に授業を行った。「タイムリーで、視覚に訴える内容で良かった。」「夏休みを前にして、全校児童への啓発活動として効果的だった。」等の声が、職員から多数寄せられた。



【すこやか指導】

③学校保健委員会

16年度は、「朝食の重要性」に焦点を当てた内容で開催した。5・6年児童の98%が「楽しくてためになった」と答えた。参加した保護者からも、「朝食の重要性が改めてわかりよかった。」等の感想が、多数寄せられた。

17年度は、児童が唯一主体的に選択できる「おやつ」に焦点をあてた内容で開催した。おやつ日記の体験、養護教諭によるおやつ授業、ヘルシーおやつクッキング等を行い、大変効果が上がった。5・6年児童に対しては、事前と事後に自己評価を実施したが、偏食が改善したR君の表れにも見られるように、特に6年生の意識が高まった。



【学校保健委員会】

今後は、養護教諭の専門性をさらに生かして栄養士や保健師との連携を強化し、時代のニーズに対応した健康教育を推進していく必要があると感じている。

(1ページのつづき)

「キレる子どもたち」の問題について対策を話し合っている文部科学省の「情動の科学的な研究と教育等への応用に関する検討会」は「適切な情動の発達については3歳ぐらいまでに母親をはじめとした家族からの愛情を受け安定した情緒を育て、その上に発達させていくことが望ましい」と報告書をまとめています。それによれば子どもの対人関係能力や社会的適応能力の育成のためには適切な「愛着」形成が重要である。子どもの心の健全な発達のためには基本的な生活リズムの獲得や食育が重要である。子どもが安定した自己を形成するには、他者の存在が重要であり、特に保護者の役割が重要である。情動は、生まれてから5歳ぐらいまでにその原型が形成されると考えられるため、子どもの情動の健全な発達のためには乳幼児教育が重要である、などと述べています。

なお、最近では子どもとテレビやビデオを巡る問題が改めて注目されているようです。NHK放送文化研究所の調査によれば、2～6歳のテレビ視聴時間は週平均1日2時間34分とか、テレビは母親の視聴時間が3時間を超えると、子どもも3時間を超えていたということです。日本小児科医会は「乳幼児期からメディア漬けの生活を送ると外遊びの機会を奪い、人とのかかわる経験が不足する」と指摘しています。

(財)日本学校保健会は周知のように、学校保健の向上発展を目的として設立された団体であり、児童生徒の健康に関する調査・研究やそれによって得た情報の提供、新たな問題への対応など、学校保健に関する様々な活動を行い、大いなる成果をあげてきたといえましょう。

しかし、既に述べましたように、児童生徒の健康問題は子どもの成育環境の変化もあって多岐にわたっており、その芽は幼児期に生じております。「子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の在り方について(中間報告)」中央教育審議会(H16.10)は幼児教育の今日的課題として、「基本的な生活習慣の欠如、コミュニケーション能力の不足、自制心や規範意識の不足、運動能力の低下、小学校生活への不適応、学びに対する意欲・関心の低下等」をあげています。

日本学校保健会としても、就学前の乳幼児の健康問題に着目し、個々の学校保健委員会の活動を通して保護者へ働きかけるとともに地域と連携して子どもの成育環境の改善を図り、問題の芽を摘んでいく活動が期待されます。

海外 ニュース

アメリカの学校保健、保健教育2005

面澤 和子 (弘前大学教育学部教授)

2005(平成17)年の米国学校保健学会はカリフォルニア州バーバンク市(10.19～10.22)で開催された。ロサンゼルス市中心から北西約20kmの場所である。学会のテーマは“Supersize Prevention—Obesity, Diabetes and Other Critical Issues(超大型予防—肥満、糖尿病、その他の重要課題)”であった。全体会は2日間あり、1日目の講演はフランシーヌ・カウフマン博士の「過体重から2型糖尿病への道」。博士は「糖尿病肥満(diabesity):アメリカを脅かす肥満」の著者で、ロスアンゼルス子ども病院の糖尿病・内分泌学・代謝センター長、南カリフォルニア大学医学部小児科教授、米国糖尿病協会の元会長(2002～2003)である。最先端の科学の成果が個人にどのように関連があり、また個人、学校、家族がこの病気と戦うための方法を明解に話された。著書は全国的な新聞の特集記事やテレビ等でも紹介されている。2日目はパット・クーパー博士の講演「調整的學校保健(Coordinated School Health):構想を使命にする」。博士は全国的に組織的な教育改革、包括的學校保健、インクルージョン問題のコンサルタント、講師として知られ、教師、校長、大学教員等の34年間の経歴から、ミシシッピ州マッコム学区の教育長としての効果的な學校保健プログラムの実践例をもとに成功のポイントを話された。子どもの出席率、テストの点数、教師の実績等が高まり、中退者、停学者、除籍者数

が減少した。氏は「全国の學校に教育問題が山積している時、ただ教育をしても何の問題も解決できない。教師が教え、子ども達が学べるような健康的で安全、協力的な學校を作り上げるために、私たちは子ども達の栄養、体力、総合的な保健のために行動を起こし、協同して協働しよう」と呼びかけた。

印象に残った事はポスターセッションの発表に全国的な保健教育カリキュラムの基準を評価するという研究がいくつかあったことである。一例として、カリフォルニア・ヘルシーキッズ・リソースセンターの職員(研究者)が、『「有効な保健教育プログラム一覧」で使用された評価基準』を発表していた。連邦法“No Child Left Behind”(2001年、初等中等教育法の改正法)の制定後、客観性のある教育プログラムの開発や評価が促進される方向にある。この発表では、自分の機関を含めた4つの政府、州レベルの機関(米国文部省専門家委員会、コロラド大学暴力予防センター、米国厚生省薬物乱用防止センター)のプログラムについて、主要機関が使用した調査基準(理論、プログラム・調査の一貫性、実施状況、調査企画、方法、有効性の証拠、他)を用いて、表にまとめていた。日本でも評価の重要性が指摘される方向にある。10年ほど米国の学会にほぼ参加してきたが、日本と比べて学会で諸機関のプログラムをオープンに評価対象として取り上げる土壌があり、保健教育プログラム開発、評価に組織的に取り組んでいて、大きな違いがある。日本での組織的な取組の必要性を痛感した。

「平成18年度健康教育推進学校表彰事業」について

日本学校保健会では、学校・家庭・地域社会が協力して健康教育を推進し、成果を挙げている学校を表彰し、もって学校保健の充実に資する趣旨から、標記事業を平成14年度から実施しております。今年度で5回目を迎える、本事業に対する趣旨をご理解の上、さらに積極的な応募をお待ちしております。

1. 趣 旨

学校現場では、生活習慣病の兆候や喫煙・飲酒・薬物乱用、いじめ、虐待、不登校、性の問題など多くの健康課題を抱えている。このような心や体の健康問題は、校内の推進体制の確立のみならず、学校保健委員会を中心とする学校と家庭・地域社会との連携による地域ぐるみの取り組みが必要である。

このような観点から、学校における健康問題を中心として、健康教育の推進に積極的に取り組み、成果を挙げている学校を表彰し、学校保健の充実に寄与する。

2. 主 催

財団法人 日本学校保健会

3. 後 援

文部科学省・厚生労働省・(社)日本医師会・(社)日本学校歯科医会・日本学校薬剤師会・全国連合小学校長会・全日本中学校長会・全国高等学校長協会・全国特別支援教育推進連盟・全国学校保健主事会・全国養護教諭連絡協議会・(社)日本PTA全国協議会・(社)全国学校栄養士協議会

朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・日本経済新聞社・サンケイ新聞社

*現在、各機関等への後援名義申請中です。

4. 協 賛

P & G

5. 表彰式の期日及び場所

平成19年2月15日(木) 10:00～

日本医師会大講堂(予定)

6. 表彰の対象

国公立の小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校及び養護学校

7. 被表彰候補校の推薦

(1) 応募する学校は、健康教育推進学校活動状況調査票(別紙様式2、以下「調査票」という)に健康教育推進活動の要点を記入し、都

道府県学校保健(連合)会及び政令指定都市学校保健会に提出する。

(2) 都道府県学校保健(連合)会及び政令指定都市学校保健会は、次に定める推薦数並びに基準によって被推薦校の推薦を行い、調査票に健康教育推進学校表彰推薦書(別紙様式1)を添えて、日本学校保健会に提出する。

1) 推薦数 都道府県 3校以内(東京都は5校以内) 政令指定都市 2校以内

2) 推薦の基準

保健教育、保健管理及び組織活動を内容とする学校保健(安全)計画が適切に実践され、その中で具体的な健康課題(食に関する指導を含む。)について学校・家庭・地域社会が連携し、解決に向けて成果を挙げている学校。

但し、過去3年間連続して推薦された学校にあっては、1年間をおいて推薦するものとする。

8. 推薦書等の提出

平成18年8月末日までとする。なお、活動状況は前年度までの実績によるものとし、また、審査の参考にするため、実践例のビデオ等の提出を求めることがある。

9. 審査の方法

各学校保健会から推薦された学校について、学識経験者等による審査会を設けて審査を行い、最優秀校、優秀校、優良校等を決定する。

審査は、書類による1次審査、ビデオ等による2次審査及び必要に応じ実地審査による。

10. 表彰の方法

表彰式は、当該年度に開催される学校保健センター事業報告会において、(財)日本学校保健会会長が表彰状を授与して行う。表彰式に併せて研究発表・シンポジウムを開催するほか、報告書を刊行し、学校保健活動の普及・充実に図る。

小学校の校長・養護教諭・保健体育指導関係者の皆様へ

出張講座「楽しく学ぼう！むし歯予防講座」参加校募集

プログラム教材として「キシリトール入りガム」無償提供

主催：(財)日本学校保健会「学校保健21研究会」 協力：(株)ロッテ

むし歯予防講座の目指すもの

(財)日本学校保健会「学校保健21研究会」運営委員

日本歯科大学東京短期大学歯科衛生学科教授 福田雅臣

むし歯の予防法で真っ先にあげられるのが「歯磨き」ではないでしょうか。むし歯菌の棲みかの歯垢を取り除くことはむし歯予防の基本です。しかし、むし歯はむし歯菌だけでは起こりません。酸に対する抵抗力という歯質の問題、歯垢や酸の材料となる砂糖の存在など複数の因子が重なり合うことによってむし歯は発生します。したがって、むし歯予防法は、歯磨きだけやっていたら十分だとはいえないのです。フッ化物を応用すること、砂糖の摂取を制限すること、歯垢や酸をつくる材料にならないキシリトールに代表される甘味料を使うこと、唾液をたくさん出すために、よく噛み、よく味わって食べるなど、色々なことを組み合わせることが必要になってきます。これらを実践していくには、むし歯予防という視点からだけでなく、生活習慣、食習慣などを見直していくことが基本にあることを忘れてはいけません。

この出張講座では、子供たちに「噛むことの大切さ」を体験してもらいながら、歯・口の健康づくりの実践法を学んでもらうとともに、日常生活を振り返ってもらい、食べ物の選択法、食を楽しむ方法、欠食をなくす工夫などを考えてもらい、良好な生活習慣形成のために支援をしていくこと狙いとしています。

出張講座概要

本プログラムは食育の観点から構成しており、子供たちのむし歯に関する正しい知識の習得や、むし歯予防に対する行動変容を促すことを目的として実施しています。

【募集対象】 全国の小学校（高学年対象）

※応募数が多数の場合、抽選となります。

【応募条件】 参加人数に応じた体育館、教室などの会場を

ご用意していただきます（屋外不可）。

学校歯科医（校医）の賛同が得られる学校に限りです。

前期、実践期間、後期全てのプログラムに参加できること。

【その他】 プログラムの教材としてキシリトール入りガムを無料提供。

【開催時期】 2006年9月～2007年2月まで

【専門講師】 (財)日本学校保健会「学校保健21研究会」会員

日本歯科大学 東京短期大学歯科衛生学科長

福田雅臣教授 他を予定

【講座内容】

前期講座

むし歯予防を楽しく学べるプログラムを実施。食育の観点からむし歯予防の大切さを学びます。まず、むし歯予防において大切な習慣を説明し、咀嚼判定ガムを活用した「噛む」ことの大切さを学ぶとともに、キシリトールを活用した、むし歯予防習慣についても紹介します。

実践期間

むし歯予防習慣を2ヶ月実践していただきます。毎日のハミガキに加えて、教材としてキシリトール入りのガムを活用します。

後期講座

後期では実践期間を終えた状態の歯の状態をチェックして、それに基づいた講義を行います。

申込欄

下記枠内にご記入の上、ファックスまたは郵送にてご返信ください。

FAX返送先：03-6222-4823

【事務局】 担当者：宮崎・春日 電話：03-6222-5251

住所：〒104-0033 東京都中央区新川1-10-14 ニューリバーアネックス4F (株)プラスエム内「むし歯予防講座運営事務局」

【出張講座申込欄】

出張講座	前期、実践期間、後期で構成されています。（後期講座は前期終了後最低2ヶ月開けて希望日をご記入ください）		
開催希望日時	前期：	月 日 () AM / PM	： ～ ：
	後期：	月 日 () AM / PM	： ～ ：
参加予定人数	名（クラス単位のお申し込みで総人数をご記入ください）		
担当教諭氏名			
学校名			
学校所在地	都・道・府・県		
	TEL： () FAX： ()		
担当歯科医氏名			
その他ご希望・ご質問			

【キシリトールガム特別価格販売申込欄】

「むし歯予防講座」のお申し込みにかかわらず、特別価格で販売いたします。

この機会に、給食後のキシリトール習慣としてご利用ください。

ご購入条件：学校単位でご購入いただける事。給食後に噛んでいただけ的事。

価格：商品1個630円1ケース22,680円。一回のご購入数はご相談ください。※ケース単位でご注文ください。

学校名	担当教諭氏名		
学校所在地			
	TEL： ()	FAX： ()	
購入希望数	ライムミント	ケース / アップルミント	ケース



◎キシリトールガム製品に関するお問い合わせ先
株式会社ロッテ 商品開発部 第一企画室
TEL 03-5388-5892 FAX 03-3379-6807
受付時間：月～金 9時～12時 13時～17時

平成18年度「学校保健用品・図書等推薦」一覧表

推薦期間 平成18年4月1日～平成19年3月31日

No.	品 目	摘 要	会 社 名
1	カワイ肝油ドロップ	保健栄養剤	河合薬業株式会社
2	イソジンうがい薬及び イソジンのどフレッシュ	口腔内及びのどの殺菌、消毒、洗浄、口臭の除去	明治製菓株式会社
3	イソジンウオツシュ	手指、皮膚の殺菌・消毒	明治製菓株式会社
4	イソジンきず薬及び イソジン軟膏	きり傷、さし傷、すりむき傷、靴ずれ、やけど等の患部の殺菌・消毒	明治製菓株式会社
5	キシリッシュガム	むし歯予防の機能をもつキシリトールを糖原料の主体として使用したガム 更に歯の主成分ハイドロキシアパタイトも配合しています	明治製菓株式会社
6	シャボネット石鹸液	手指の殺菌消毒及び洗浄	サラヤ株式会社
7	コロロ自動うがい器	コップを使わずにうがいできる装置	サラヤ株式会社
8	アラウ、天然毛ハブラシ やわらかめ小（ウマ毛）	歯ぐきをやさしくマッサージする天然毛ハブラシ	サラヤ株式会社
9	アラウ、天然毛ハブラシ かため大（ブタ毛）	歯のエナメル質にやさしい天然毛ハブラシ	サラヤ株式会社
10	アラウ、せっけんハミガキ	植物性の無添加せっけんに天然ハーブのチカラをプラスした自然派ハミガキ	サラヤ株式会社
11	「バイゲンラックス」	プール用水、飲料水等の殺菌消毒剤	株式会社カズサ
12	「こどもハピカ」	電動付歯ブラシ	株式会社ミニマム
13	JES（呼吸・吸圧）シューズ	上ばき・体育館用・グランド用	日本教育シューズ協議会
14	クリーンウエット	消毒用お手拭き紙	株式会社トーヨ
15	ベースサン®	プール用、足腰洗槽用殺菌消毒剤	多木化学株式会社
16	日産アクアチェック®シリーズ	残留塩素測定試験紙	日産化学工業株式会社
17	ハイライト®	プール用殺菌、消毒剤	日産化学工業株式会社
18	ネオクロール・ニューS	プール用殺菌消毒剤	四国化成工業株式会社
19	ライオンこどもハブラシ 6～12才用	歯刷子（6～12才用）	ライオン株式会社
20	アルボース石鹸液	手指の殺菌・消毒・洗浄	株式会社アルボース
21	オロナインH軟膏及び オロナイン液	皮膚疾患・外傷治療薬及び殺菌消毒薬	大塚製薬株式会社
22	ポカリスエット及び ポカリスエットステビア	水分・電解質補給（清涼飲料水）	大塚製薬株式会社
23	ホットボー	水分・電解質・ビタミン補給（粉末清涼飲料）	大塚製薬株式会社
24	エネルゲン	水分・電解質・エネルギー補給（清涼飲料水）	大塚製薬株式会社
25	アミノバリュー及び ダブルアミノバリュー	水分・電解質・アミノ酸補給（清涼飲料水）	大塚製薬株式会社
26	キシリトールガム及び キシリトールタブレット	児童生徒の口腔保健の向上を目的としたチューインガム及びタブレット	株式会社ロッテ
27	小学校・中学校・高校生用 シャツ・ブラウス	耐洗濯性に優れた制菌加工を施した形態安定シャツ	エクセル株式会社
28	日曹ハイクロンTB-200	プール用殺菌消毒剤	日本曹達株式会社
29	ホルムアルデヒドテストストリ ップ/ドクターシックハウス	室内空気中のホルムアルデヒドを検出する試験紙	関東化学株式会社
30	シュガーレス・ガム リカルデント	虫歯予防に効果のある「キシリトール」と歯の健康に必要なミネラルを補強するリカルデントを配合したシュガーレス・チューインガム	キャドバリー・ジャパン株式会社
31	バトラーLEDイルミネーター	発光ダイオード採用により、高い機能性と操作性をもった、口腔内診療用照明器	サンスター株式会社
32	ケミフリー空気清浄機 「エアイーサー」	シックハウス症候群、化学物質過敏症等の児童生徒に効果のある空気清浄機	株式会社レモン
33	ウィスパー（多い日用）	生理用ナプキン	プロクター・アンド・ギャンブル・ファーマー・イースト・インク(P&G)
34	らくがきこどもせっけん	体やお風呂場にお絵かきができ、かつ洗い流すことで洗浄も出来ます。	株式会社バンダイ
35	カロリーメイト（缶）	栄養調整食品	大塚製薬株式会社
36	積層式プラスチックまな板	古くなれば一枚一枚はがせる衛生的な調理用プラスチックまな板	山県化学株式会社

No.	品 目	摘 要	会 社 名
37	ダニスキャン	目に見えないダニアレレルゲンを簡単にチェックできる判定キット	アサヒフードアンドヘルスケア株式会社
38	キレイキレイ薬用ハンドソープ	せいけつ殺菌成分配合で手肌を清潔にするシトラスフルーティの香りの薬用ハンドソープ	ライオン株式会社
39	キレイキレイ薬用泡ハンドソープ	はじめから泡で出てくるので、泡立てるのが苦手なお子様にも簡単に使える薬用泡ハンドソープ	ライオン株式会社
39	キレイキレイ薬用泡ハンドソープ	はじめから泡で出てくるので、泡立てるのが苦手なお子様にも簡単に使える薬用泡ハンドソープ	ライオン株式会社
40	キレイキレイブクブクガラガラ液 すっきりメントール味/さわやか 青りんご味	優れた殺菌効果をもつ有効成分CPC配合のうがい薬 口腔内及びのどの殺菌・消毒・洗浄、口臭の除去	ライオン株式会社
41	液体ミューズ	手洗い用液体洗浄剤(殺菌効果あり) ダブルの殺菌成分配合で様々な種類のバイ菌に効果を発揮 (※トリクロサン、トリクロカルバン)	プロクター・アンド・ギャンブル・ファーマ・イースト・インク(P&G)
42	クリニカKid'sハブラシ 生え替わり期用	「つま先みがき」「かかとみがき」に適した歯科医推奨設計のハブラシ	ライオン株式会社
43	マイティチェッカー	屋内の塵性ダニアレレルゲンを抽出液に浸し発色チェッカーで確認する	リオンテック株式会社

保護者に理解を図るための スキルアップ講習会 **無料** を開催します!

養護教諭
対象

思春期が始まる頃の子どもの心と体をサポートするには、学校と家庭が手を取り合い、保護者と知識を共有することも必要です。しかし、保護者に知識を持ってほしいと思っても、忙しい中で充実したコミュニケーションの時間を作ることは難しいのが現状です。そこで、養護教諭が保護者に向けて講習するための教材を提供している「ウィスパー「ハッピー・始・春・期」プログラム」では、**主に小学校の養護教諭を対象とした講習会**(保護者に理解を図るためのスキルアップ講習会)を開催いたします。

保護者への講習やコミュニケーションのスキルに関心のある先生、是非ご参加ください。

日時・会場・講師

【大 阪】7月25日(火)

〈講師〉服部祥子(精神科医・大阪人間科学大学大学院教授)
末原紀美代(助産師・大阪府立大学看護学部教授)
〈会場〉チサンホテル新大阪

【名古屋】8月5日(土)

〈講師〉服部祥子(精神科医・大阪人間科学大学大学院教授)
堀口雅子(産婦人科医・性と健康を考える女性専門家の会会長)
〈会場〉今池ガスビル

【東 京】8月6日(日)

〈講師〉岡田謙(精神科医・くしろホスピタル院長)
堀口雅子(産婦人科医・性と健康を考える女性専門家の会会長)
〈会場〉虎の門パストラル

時 間 各会場13:30～16:30

定 員 各会場120名(申し込み先着順)

講習会費 無 料

講習会の内容(2部構成)

保護者とのコミュニケーションの
重要性とその方法 ～精神科医の見地から～
「なぜ今保護者とのコミュニケーションが必要なのか」
「アプローチ機会の作り方・接し方」など

●講師: <東京会場> 岡田謙
<名古屋/大阪会場> 服部祥子

保護者向け講習の実践

1. 性の健康教育
思春期が始まる頃の子どもの心と体の変化と講習の実践

●講師: <東京/名古屋会場> 堀口雅子
<大阪会場> 末原紀美代

2. こどもの発達にあわせて、
保護者・指導者が気をつけてあげられること
A. P&Gウィスパー…「おとなとこどもの生理のちがい」
「ナプキンの選び方」など
B. ワコール…「おとなとこどもの身体のちがい」
「こどもの下着の選び方」など



お申し込み方法

「養護教諭講習会参加希望」、先生のお名前・学校名/参加票送り先(郵便番号/ご住所/お電話番号)/参加希望会場を明記の上、ファックスにてお申し込み下さい。折り返し参加票をお送りします。

[FAX] 03-3549-1685

お問合せ先

ウィスパー ハッピー「始・春・期」プログラム事務局
「養護教諭講習会」係
[電 話] 03-3549-1684
(祝日を除く月～金曜日/午前10時～午後5時)
[E-mail] info@whisper-shishunki.com

■主催:P&G ■共催:株式会社 ワコール ■後援:財団法人 日本学校保健会/全国養護教諭連絡協議会

ダニ又はダニアレレルゲンの検査時期となりました。

(財)日本学校保健会では、ダニアレレルゲン測定キット「ダニスキャン」の斡旋販売を行っております。

「ダニスキャン(ダニアレレルゲン測定キット)」 1箱(5回分) **5,000円(税別)**

ご購入方法 ①教育委員会等名②住所③電話番号④申込者⑤申込個数をご記入の上、下記あてFAXまたは郵送してください。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー6階

F A X 03-3592-3898

問い合わせ 日本学校保健会 事務局 03-3501-2000

虎ノ門 (83)

～湯気の向こうに～

昨年より学校給食を取り巻く環境は、大きく変わりました。栄養教諭制度が開始され、全国でそれぞれが食の授業を展開しています。

また、食育基本法が成立したことに伴い、18年3月末食育推進会議において食育推進基本計画が決定し、「食育」を国民全体で取り組む構図が示されました。

この中で特に学校給食が担う役割は重大で、生活習慣形成途上にある成長発達段階の子どもたちについては、生活習慣病の一時予防などの効果が期待されている他、朝食欠食率の改善や、地場産物活用の数値目標などが設定されております。

加えて豊かな人間性をそだてることは、国の将来にも及ぶものであるといわれ、食育の中核的役割を負う栄養教諭は、それらに向けて関係教職員と連携しながら計画の策定を積極的に推進していく必要があります。

かつて家庭の食卓は、「膳の場」として位置し、一粒の米の食べ方から挨拶、はしの上げ下げ等々、子どもたちの教育の一端を家庭が担い、食卓はまさに「その家族の生き方」そのものであったように思います。

今、家庭の食卓から膳をする大人たちが消え、食べたい物を食べ、グルメを楽しみ、残された子どもたちは思いのまま自由気ままに食事を楽しんでいる(?)ように思えてなりません。

このような子どもたちの改善を図るために、法制化された下で教育するということに対し、様々な議論がされていますが、給食の現場では、どんな食べ物でも食べられるよう、そしてよき教材となるよう献立に工夫を凝らし、未来を担う子どもたちのために地道に日々努力を重ねています。

今日も大きな釜の湯気の向こうに笑顔いっぱいの子どもたちの顔が見えてきました。さあ楽しい給食時間のチャイムが鳴ります。

〔社団法人 全国学校栄養士協議会
理事 松本 ふさ江〕

事 務 局 便 り

何年も前のことになりますが、某国立大学の先生が、「足の裏」の研究で博士号を取ったとの報道がありました。この時は、学問や研究にもいろいろの分野があり、異色の研究をしている人もいるのだなあとと思いましたが、足についての問題意識を、いち早く持っておられたということでしょう。

そして今、児童生徒の間で「足」にかかるトラブルを訴える例が増えていると聞きます。特に、児童生徒の発達が著しいことから生じる靴との関係は、日常的なこともあって、学校現場や医療機関では無関心ではいられなくなりました。そこで本会でも、まずは健康教育を推進する観点から、一昨年に「足と靴のしおり」(靴について考えてみませんか)という足の大切さを理解するための普及資料を作成し、全国の公立の小中学校に配布させて頂きました。

しかし、意外にも児童生徒の「足」のことは、「靴」を含め、基本となる実証的データ等が極めて少なく、関係者が指導やアドバイスを行う際にも、適切な情報提供に事欠く状況であると言うことが分かりました。このようなことから、本会では、足囲、足幅、足長及び前足部、後足部等、それに性別、身長、体重、生年月の項目を加え、発達期における足の実態調査を本年

度より学校を訪問させて頂き実施することに致しました。

過日、江戸川区立小岩小学校(子安 茂校長)にご協力を得て全



学年の皆さんの足を測定させて頂きました。(写真)初めての試みにもかかわらず積極にご協力頂いた各先生方に、この誌上をお借りし重ねてお礼申し上げます。

足にかかる調査は、これまでにないことだけに、学校運営等に支障を来さない等、多くのことに配慮する必要があります。本会としても精確度の高い調査とするために、さらに多くの学校にご協力を頂ければと思います。集計したデータは、当該学校での健康相談や運動能力の個々の指導はもちろん、また分析等の結果を関係機関や団体等が、児童生徒の健康教育のために有効に活用できるものになりたいと考えています。足を通じて児童生徒の生涯の健康観に繋げるためにも是非、皆様のご理解と協力をお願いします。

(会報「学校保健」編集委員長 林 眞示)

本会は、学校保健に係わる多くの課題を委員会で協議・研究し、具体的な方策と資料を学校現場に提供する使命を担っています。各学校での保健教育、保健管理充実のために、これらの出版物を活用していただければ幸いです。

財団法人日本学校保健会図書・しおり一覧 (平成18年6月1日現在)

冊子の割引き、支払い方法・目次等は本会ホームページ出版物販売コーナーをご覧ください。

書 名 (出版年度)・定価等	内 容
会報「学校保健」年間購読 (年5回発行) 送料込み A4・P8 1,000円	健康で明るく、豊かに生きる子どもの育成を図るため、学校保健の様々な情報を全国の学校・関係団体等に提供する日本学校保健会の情報誌。
学校保健の動向 (H17年度版) B5・P286 3,000円	学校安全管理 (学校安全管理の正しい方向、地域との連携、学校内における犯罪防止対策と安全管理) コラム欄・年表・学校保健の通達・統計を記載。
平成16年度児童生徒の健康状態サーベイ ランス事業報告書 (H18年) A4・P228 2,000円	児童生徒の健康をめざす諸活動を企画し、実践していくには、全体像の把握が肝要です。本書は本会独自のサーベイランス方式を通して、価値ある貴重な健康情報を集積しています。
21世紀・新しい時代の健康教育推進学校の 実践4集 (H18年) A4・P132 1,000円	平成14年度から実施している「21世紀・新しい時代の健康教育推進学校表彰」事業に関して、その普及を図るため、すばらしい成果を挙げておられる表彰校の実践をまとめ発行。
わたしの健康手帳 (バインダー方式) (H16年) A4・P58 2,500円	この手帳は出来るだけ多くの子どもたちが、自分の健康に関心を持ち、日常生活の中で自主的に健康へ取り組んでいける事等をねらいとして作成。
平成14年度 健康診断調査研究小委員会 報告書 (H15年) A4・P8 400円	児童生徒の健康診断に関して、健康診断項目・事前に実施する保健調査と日常の健康観察・健康診断と健康相談のかかわり、プライバシーと人権の保護・事前措置等について調査研究結果をとりまとめた報告書。
新・学校検尿のすべて (H15年) A5・P139 1,500円	学校検尿の新しい内容に適合した集団検尿の実際・精密検診、管理と治療等を具体的に解説。
新・心臓検診の実際 (H15年) A5・P164 1,800円	学校心臓検診の新しい内容に適合した、検診システム・検診の実際・児童生徒の心臓病・管理の実際について解説。
児童生徒の健康診断マニュアル (改訂版) (H18年) A4・P225	学校での健康診断は、健康管理や健康教育を進める上で最も重要です。本書は、前回のマニュアル作成から10年が経過、この間の規則改正や状況変化を踏まえて改訂したもので、健康診断に関わる方々や学校現場での必携の書です。
就学時の健康診断マニュアル (H14年) A4・P63 700円	平成14年秋から実施される学校保健法施行規則の改正を踏まえて、就学時健康診断の実施方法を解説した手引き書。
定期健康診断における結核検診マニ ュアル (H15年) A4・P26 300円	小・中学校で実施してきたツベルクリン反応検査・BCG再接種が廃止され、新たに学校での結核対策システムが十分機能するように結核健診の実際。
学校における結核管理マニュアル (H11年) A4・P76 700円	結核が恐るべき感染症であることは、今日においても変わらない。「忘れた頃」を狙って発生する集団感染の防止を国の「結核撲滅宣言」の視点からの対策。
学校生活におけるアトピー性皮膚炎Q&A (H11年) A4・P50 700円	アトピー性皮膚炎についての概念・病因・事例・対策等をQ&A形式で記述。これを持つ児童生徒が、教育の課程で不利益を被らない為、学校で必要な対策。
学校において予防すべき伝染病の解説・学 校関係者用 (H10年) A4・P22 400円	学校において予防すべき伝染病について、医学的見地から指導・助言等を円滑に実施することが出来るように解説。
難聴児童生徒へのきこえの支援 (H17年) A4・P43 1,000円	補聴器や人工内耳を装用する児童については、学校の授業や教育活動に特別な配慮が必要です。理解を深め適切に対応する為の資料。
喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する参考資 料中学校編 (H16年) A4・P168 2,000円	思春期の生徒の特徴を考え喫煙、飲酒、薬物乱用について、健康への害を科学的にとらえた指導の参考書。
喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する参考資 料高等学校編 (H16年) A4・P214 2,000円	改定された学習指導要領に基づき全面的に見直し、科目保健における指導を中心、関連する教科等における指導事例に構成し、ライフスキル教育の考え方。
喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する用語 辞典 (H14年) A4・P107 1,500円	指導者が喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の用語を理解し、教育的配慮と共通の考え方に基づいて指導できるように編集。
学校環境衛生管理マニュアル (H16年) A4・P247 2,500円	新しい内容に適合した「学校環境衛生の基準」について、快適な学習環境を維持する為の詳しい解説書。
学校における水泳プールの保健衛生管理 (H11年) A4・P76 700円	水泳プールの衛生管理についてのノウハウを分かりやすく解説。
性感染症予防に関する指導マニュアル (H15年) A4・P27 500円	近年、若年層に多く見られる性感染症について、特に高等学校での性感染症予防に関する指導をQ&Aを取り入れて教員用に解説。
ゆたかな体と心を育むための望ましい生 活習慣づくり 改訂版 (H18年出版) A4・P97 2,000円	生活習慣の予防は国民全体にとっておおきな課題です。将来の健康障害の阻止を目的に、毎日の運動、食事をはじめ必要な生活習慣づくりを詳細に記載、解説。
教師のための心の健康問題の理解と対応 (H15年度改訂版) A4・P85 1,000円	心の健康問題の見方・とらえ方・関わり方を子どもの発達に則し説明。保護者への対応、学内・外部関係機関との連携のQ&A。
保健主事の手引 (三訂版) (H16年) A4・P192 2,000円	法令の一部改正や基準の改定に伴い、新しい内容に適合した保健主事の職務と学校保健の推進における役割を明確。
学校保健活動推進マニュアル (H15年) A4・P97 1,200円	保健主事 (主任等) の活動状況の調査結果で明らかになった実態や課題を、保健主事を要とした学校における保健活動の進め方。
学校保健委員会マニュアル (H11年度版) A4・P64 500円	「なぜ学校保健委員会が必要か」「こんな会議です」から説き起し、会議の進め方、運営の実践モデルの掲載や、学校保健委員会に必要なノウハウ。
学校保健委員会実践事例集—やってみ ませんかこんな学校保健委員会— (平成18年出版) A4・P104 1,000円	学校保健委員会は、学校が家庭や地域と連携し、健康教育を進める際の中心的組織です。学校現場で保健主事・教員の参考となる事例を集めたものです。

書 名 (出版年度) ・ 定価等	内 容
保健室利用状況に関する調査報告書 (H14年) A4・P155 800円	保健室を訪れる児童生徒・教職員・保護者の実態その処置・対応及び保健室登校の実態を把握し、健康相談活動の実態を実施、調査結果報告書。
平成16年保健学習推進委員会報告書 (H17年) A4・P240 1,200円	児童生徒、保健学習担当教員及び保護者を対象に「保健学習上の課題を明確にする為の実態調査」を初めて実施した結果の考察資料。
養護教諭が行う健康相談活動の進め方 保健室登校を中心に (H12) A4・P116 1,000円	養護教諭が行う健康相談活動の進め方・保健室登校の意義と対応・児童生徒理解等、教育現場での今後の実践活動に役立つ指導資料。
養護教諭の特質を生かした保健学習・保健指導の基本と実際 (H12年度版) A4・P116 1,200円	養護教諭の保健学習への関わり方、保健教科授業を担任する教諭又は講師の養成制度改正、養護教諭の職務の特質を生かした保健学習・保健指導の授業の進め方、保健学習・保健指導の実際等。
養護教諭の専門性と保健室の機能を生かした保健室経営の進め方 (H16年) A4・P143 2,000円	保健室経営について、考え方から施設・設備面まで取り上げて解説。心身とも健康な子どもの育成にお役立て下さい。
新しい保健学習のモデル 中学校における課題学習、授業書方式 ライフスキル (H16年) A4・P143 2,000円	中学校の保健学習、特に喫煙・飲酒・薬物乱用教育に設定し、授業における教師の支援の方法。課題学習「授業書」による保健授業のライフスキル学習の進め方について授業実践(モデル)を通し記載。小・中・高校で参考になります。
3・4年生から始める小学校保健学習のプラン (H12年度版) A4・P80 1,200円	新学習指導要領に基づく「小学校保健学習」の考え方や授業の進め方。Q&Aと実践を通した事例を盛り込んだ書。指導教員・教員養成大学生に最適。
実践力を育てる 中学校保健学習のプラン (H12年度版) A4・P94 1,200円	新学習指導要領に基づく「中学校保健学習」について、授業の展開例や学習方法等を記述した手引書。各学校職員・教職員養成大学の学生に最適。
意思決定・行動力を育てる高等学校保健学習のプラン (H12年度版) A4・P94 1,200円	新学習指導要領に基づく「高等学校保健学習」の進め方。理論編と実習編の二部構成。指導にあたる各学校教員・教職員養成大学の学生に最適。
小学校保健学習の指導と評価 (H16年) A4・P88 1,300円	新学習指導要領に基づく「小学校保健学習」の指導と評価を一体的に進める為、Q&Aや授業の展開例等を記述。小学校保健学習のプランと併せ活用下さい。
中学校保健学習の指導と評価 (H16年) A4・P83 1,300円	新学習指導要領に基づく「中学校保健学習」の指導と評価を一体的に進める為、理論編と授業実践編に分け記述。中学校保健学習のプランと併せ活用下さい。
高等学校保健学習の指導と評価 (H16年) A4・P69 2,000円	新学習指導要領に基づく「高等学校保健学習」指導と評価を一体的に進める為、授業実践例・評価方法の具体例。「高等学校保健学習のプラン」と併せ活用を。
日本学校保健会八十年史 (送料込み) (H17年) A4・P533 9,500円	本会が大正9年に法人化されて以降の学校保健活動の歩みと成果等を網羅、今後健康教育を進める上で貴重な資料です。

し お り	内 容
学校生活とコンタクトレンズ (H14年) A4・P22 150円	中・高校生コンタクトレンズの使用が急増し、学校関係者や保護者等が、それに関する知識を十分に持てるよう指導に役立つ。
心因性視覚障害Q&A (H12年度版) A4・P10 150円	心因性視覚障害について、概念、病因、事例、治療等をQ&Aを方式。
児童生徒の眼の健康のしおり (H9年度) A4・P12 150円	視力の知識等を適切にまとめてあり、視力に関する指導等に役立つ。
歯肉の状態から健康づくりを見直そう (H16年出版) A4・P28 350円	歯肉は歯よりも「病気の変化が見える」対象として理解し易い学習教材。歯肉の健康、歯肉の病気を通し健康づくりを見直そう。
生きる力をはぐくむ「歯・口の健康づくり」 (H12年度版) A4・P22 200円	特色ある活動を推進し、子どもたちに「生きる力」をはぐくむ為の「総合的な学習の時間」を充実する歯・口の健康づくりの新たな展開のプラン。
歯・口の健康づくりめざしてII—健康診断と保健指導の進め方— (H10年度) A4・P20 50円	これからの学校歯科保健の推進にとって重要な課題を具体的にQ&Aの形式で指導計画例や実践例を豊富に掲載。
歯・口の健康と食べる機能II— 「食べる」ことから健康な生活を考える— (H18年) A4・P29 250円	食べる機能は生きるための大切な基本機能です。歯・口の特徴に自ら気づき、健康チェックや健康行動の見直しが出来るように配慮し、セルフチェックカードや、レーダーチャートを掲載しました。
歯・口の健康と食べる機能 (H10年度) A4・P18 150円	口腔機能のうち「食べる機能」を取り上げ、歯・口の健康づくりとの関連を重視して解説した手引。
子どもの心因性難聴Q&A (H11年度) A4・P10 150円	学校保健の立場での心因性難聴への対応をQ&A方式で解説した。
骨の健康づくり (H9年度) A4・P18 100円	骨の健康づくりの為の基本的な知識理解及び食事や運動など、毎日の生活についての学校における指導の在り方やその内容について。
足の健康と靴のしおり (H16年出版) A4・P20 200円	足の健康の為に、望ましい靴の選び方、適切な靴の履き方等、足と健康との関わりにつき、学校の指導と保護者の啓発資料。
心疾患児 新・学校生活管理指導のしおり(学校・学校医用) (H14年出版) A4・P10 100円	新しい「学校生活管理指導表」の策定に伴い、新指導表の見方、心疾患児の学校での生活規制について解説。
腎疾患児 新・学校生活管理指導のしおり(学校・学校医用) (H14年出版) A4・P10 100円	新しい「学校生活管理指導表」の策定に伴い、新指導表の見方、腎疾患児の学校での生活規制について解説。
新・心臓手帳 (H14年出版) B6・P40 350円	症状とそれに応じた生活を正しく理解し、主治医・学校・家庭の連絡用。
新・腎臓手帳 (H14年出版) B6・P39 350円	症状とそれに応じた生活を正しく理解し、主治医や学校、家庭の連絡用。

タイトル (CD-ROM)	内 容
エイズを正しく理解するために (H7年) 2,000円	エイズを正しく理解する為に音や映像を盛り込みグループ学習や生徒の自学用。
歯肉の状態から健康づくりを見直そう— —教育資料編— (H16年) 1,000円	しおり「歯肉の状態から健康づくりを見直そう」のプレゼンテーションができるようにCD-ROMにしました。



子どもの『靴原病』を防ぎましょう

Point 4

JES環境効果

地球の健康も考え、使用済みの靴底を回収して、新しい上履きに作り直す「上履きのリサイクル」システムを完成しました。

Point 3

JES吸圧効果

カカト部分の衝撃吸収材は大きなデルタ形状。着地時の破壊的衝撃を吸収分散します。

Point 1

JES呼吸効果

靴底の通気孔は、足の発汗による熱気や湿気を放出します。

Point 2

JES教育効果

つま先が広く5本の指が自由に動かせるゆったり設計の靴型

足に合わない小さなクツや先の細いクツを履いていると足指が変形したり爪が痛くなったりします。

子ども達は、一日に5～7時間も、学校内で上履きを履いて生活しています。

子どもの靴原病を予防するために上履きを見直して下さい。

JESシューズは、足を科学することから生まれたスクールシューズです。



日本教育シューズ協議会

本部事務局/〒703-8258 岡山市西川原1丁目11番6-1号
TEL 086-272-5463 FAX 086-273-9439
<http://www.jes.gr.jp/>

大塚製薬



抽選で10校様へ
ポカリスエット500ml
ペットボトル1ケースを
無料進呈します。

(財)日本学校保健会推薦



学校名、住所、TEL、ご担当者名、担当職、学校でのポカリスエットの活用方法をご記入の上、下記「健康と料理社ポカリスエットプレゼント係」宛てにハガキでご応募ください。※当選発表は発送をもって代えさせていただきます。【応募締切】平成18年7月末日【応募に関するお問合せ】健康と料理社〒102-0075 東京都千代田区三番町24林三番町ビル4F TEL 03-5275-6838/担当 河西

【商品に関するお問合せ】大塚製薬株式会社 TEL 03-3293-6111 <http://otsuka.co.jp/poc/>



歯は、笑顔の主役です。

お口の主人
LOTTE

キシリトールガム



歯の健康に、キシリトールの力。

厚生労働省許可 保健機能食品(特定保健用食品) むし歯のない社会へ
(財)日本学校保健会推薦 (社)日本学校歯科医会推薦 ガムをかんだ後は紙に包んでくずごかへ。

シックハウスの
原因物質を
簡単チェック!

室内に置くだけ!

ホルムアルデヒドを
検出すると黄色に変色!

ホルムアルデヒドテストストリップ



関東化学株式会社

試験事業本部 試験部 TEL:(03)3663-7631

インターネットでも
商品の情報をご覧いただけます。
<http://www.kanto.co.jp/siyaku>